



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第26号 (H23. 12. 2)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

しつ じつ ごう けん
質 実 剛 健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



みんなが完走！

駅伝がんばりました！

～校内持久走・駅伝大会～

11月25日（金）に校内持久走駅伝大会が姫城運動公園で行われました。目的は、長い距離を走ることにより、肉体的持久力や精神的忍耐力などを高め、強靱な心身の発達を促しながら「走る」ことへの意欲と習慣化を図ることです。また、大会を通して、クラスの団結を強固にし、豊かな中学校生活を育む態度を育てます。今年は、校内持久走だけでなく、駅伝にも高校生と一緒に参加することになりました。男子は2.8km、女子は2kmです。持久走も駅伝もみんな一生懸命走りました。初めての駅伝で2年生が記録から総合5位と大健闘でした。個人の走りもすばらしいものでした。



＜駅伝大会の様子＞

■校内駅伝大会 中学校の部 最高タイム賞

学年クラス	氏 名	記 録
2-A	榮福 和希	10分26秒
1-A	萱嶋 桃菜	8分15秒

■校内ロードレース大会 中学校上位者

順位	氏 名	記 録	順位	氏 名	記 録
1	森山 陵	10分33秒	1	橋口芳菜	8分52秒
2	松元 亮	10分55秒	2	平山凜桜	8分54秒
3	西川竜星	11分07秒	3	藤岡ゆい	8分59秒
4	瀬ノ口敬斗	11分11秒	4	益留菜央	9分02秒
5	松本真太郎	11分25秒	5	今栖実柚	9分06秒



＜榮福和希くん・萱嶋桃菜さん＞

キャリア教育の一環～京都大学大学院生である「甲斐尚人」先生の講義受ける！



テーマは、「学校生活とエネルギー科学」でした。



あったけど、大学院ではこんなに専門的な内容を学べるのだということを初めて知りました。私は将来の夢は決まっていますが、これから勉強を頑張って、どんな道にも進めるように勉強をがんばりたいです。

＜生徒の感想＞

- ☐今日は、結果は20位でした。今年一年の運動不足を事実として突きつけられた気がするので、少しずつ運動するように心がけたいです。
- ☐駅伝は高校生も合わせて5位だったのすごいなと思いました。走っているときは、とても楽しくて疲れなかった気がします。来年も楽しみです。
- ☐今日はロードレース大会でした。順位は去年より3つ下がってしまいましたが、タイムは1分以上早くなっていました。うれしいです。そして、駅伝では2-Aが全体で5位でした。これはすごいと思います。

□今日の授業を通して私は、やはり勉強って大事なんだなと思いました。特に印象に残ったのは英語のことについてです。私は、最後の英語の論文を聞いて将来にはこんなに英語を使わなければいけないのだなと思いました。私は、今英検準2級を持っていますが、もっと上の級をとらなければいけないなあとということと、改めて英語の大切さを感じました。大学院で研究されている内容の説明については、難しい内容があ

家庭の「カ・キ・ク・ケ・コ」

昔、家庭では、よく「サ・シ・ス・セ・ソ」が使われていました。料理で使われる「サ・シ・ス・セ・ソ」は、調味料の「砂糖・塩・酢・醤油・味噌」です。



家事の「サ・シ・ス・セ・ソ」は、「裁縫（さいほう）・躰（しつけ）・炊事（すいじ）洗濯（せんたく）・掃除（そうじ）」をいいます。

最近では、調味料の「サ・シ・ス・セ・ソ」も家事の「サ・シ・ス・セ・ソ」もあまり聞かれなくなった気がします皆様のご家庭はどうでしょうか。

私の子どものころ、料理の「砂糖・塩・酢・醤油・味噌」の塩梅（あんばい）が各々の家庭で異なっており、各家庭の味がありました。

現代は、簡単便利でそのまま使える調味料がたくさん売られていますし、お店の味も覚えられる機会も多く、どの家庭も美味しい料理が食卓に並ぶようになったのかなあとと思います。反面、各家庭の味が薄れてきたかなあとと思います。家庭では「裁縫」する機会が減り、洗濯や掃除も機械が全部やってしまうようになりました。最近では、包丁やまな板の無い家庭もあると聞いたりもします。

家庭の「サ・シ・ス・セ・ソ」は、あまり使われなくなりましたが、どの「サ・シ・ス・セ・ソ」も大切だなあと感じます。特に「シ：躰（しつけ）」は、子どもの成長の根幹に関わることだと思います。その「シ：躰（しつけ）」のための、家庭の「カ・キ・ク・ケ・コ」がありますので、ご紹介します。

躰というとただただ子どもを厳しく叱るというイメージがありますが、私は、「カ・キ・ク・ケ・コ」が大切ではないかと思っています。

「カ」は「管理できる家庭・寛容のある家庭」です。管理できる家庭は、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、テレビやゲームなどを見たり遊んだりする時間をきちんと管理できている。おやつも自由に食べるのではなく、健康を考えて時間や量、内容が決まっている。子ども同士の遊びの中にもルールやマナーがあって守られている。等々です。寛容のある家庭は、誤ったことをしたとき。やみくもに、叱るのではなく、理由をわからせ、次の機会をつくり、信じてあげられる家庭です。

「キ」は、「聴く・聞く家庭」です。子どもの話をしっかり聴くことができる家庭は、子どもたちが悩んだとき、あるいはうれしいとき、あるいは悲しいときなど、さまざまな心で揺れ動いているとき、子どもと正面から向き合って話を聴くことができる家庭です。

「ク」は、「工夫がある家庭」です。子どもの成長を願ってさまざまな工夫をされる家庭があります。家庭団らんの時間を設けてみる家庭、「うちどく10」で、家族全員で10分間読書をされている家庭、一家庭一実践を子どもの成長に合わせながら工夫し、ずっと継続されている家庭等々。こうした家庭は、工夫している時間の中で、躰がおこなわれている家庭です。

「ケ」は、「健康な家庭」です。家族全員で健康であることが第一ですから、説明するまでもありません。心身の健康が一番です。

「コ」は、「交流のある家庭」です。今、世の中で一番心配されることは孤立です。多くの事件は孤立することで起きているような気がしています。子育てで心配なときや悩むとき、気軽に話ができると気持ちもすっきりしますし、解決の糸口が見つかるかもしれません。

ご紹介した家庭の「カ・キ・ク・ケ・コ」以外にも、各ご家庭の教育方針があるかと思いますが、健やかな成長を願って、ぜひ、「カ・キ・ク・ケ・コ」の実践もお願いいたします。